

こんにちは いだ かよこです

日本共産党綾部市会議員

2015年8月 第18号 綾部市味方町畦田30
携帯090-5012-9039 電話・ファックス0773-43-3255
ブログ「こんにちはいだかよこです」<http://dog.ap.teacup.com/idakayoko/>
議員団の「こんにちは」もあわせてご覧ください



綾部市内10小学校から、20人の子どもたちを議場に招いて、将来の綾部市について意見をお聞きます会です。
いただいたご意見に対して、議員がコメントをさせていただきます。

綾部っ子未来を語る議会

綾部市議会設立65周年記念事業

「戦争法案」を廃案に！

市内の14団体から請願が提出されました。

安倍政権が平和・安全と名付けた法案は、1自衛隊が戦闘地域に行って軍事支援を行う。2武力衝突が続いている地域でも、治安維持活動を行うようになる。3日本が攻撃されていなくても、アメリカが行う先制攻撃の戦争に自衛隊を参戦させる。という憲法違反の戦争法案です。

6月議会での「請願」に対する委員会審議で、「外交で握手、もう片方ではしっかりと構えをすることによって平和を維持できる」「有事を未然に防ぐには何としても抑止力が必要」という意見が出されました。
各世論調査では
●安保法案は
違憲だ：56%
違憲ではない：29.2%
●安保法案に
反対：58.7%
賛成：27.8%
●今国会で成立に反対
：63.1%

さまざまな国際紛争や緊張の火種のある北東アジアに、軍事で構えれば「軍事対軍事」の悪循環におちいるだけです。
紛争の解決は、話し合いのルール作りを。今必要なことは、平和の外交戦略です。
戦後70年の歴史を大きく変えるこの法案を廃案にすることを、共産党除くすべての党派議員に呼びかけ同意を求めましたが、採択されませんでした。日本共産党は支持政党などの違いを超えて、憲法9条を活かした平和の外交努力によって、戦争法案廃案めざし全力をつくします。

分自身が未来の綾部に貢献したいという強い気持ちが伝わってきた辻井さん。

各学校からの代表は立候補を募り、後は話し合いで決めたと聞きました。20人それぞれの意見を、堂々と述べておられる姿は大したものです。



どのご意見も、綾部のよいところだけでなく、課題を見つめながら縦貫道の開通など新しい情報も取り込むことで建設的な意見につながっています。「安心して子供を産める環境を」「高齢者の笑顔あふれる町に」「高齢者と子供が集う施設を」など、議会でも質問されていることも多く驚きました。
私は、東八田小学校のお二人へのコメントをさせていただきます。
メディアを使って若者の視点でのPRの方法や、観光都市を目指すための、山への植林、ごみのリサイクルで街づくりなど具体的なイメージを描いておられるところがとてもいい山内君。

少子高齢化が進む現状をふまえ、自分たちにできることを考え、自分

「あなたの入党を心からよびかけます」

日本共産党は、今年7月15日党創立93周年の記念日を迎えました。

国民の苦難軽減を立党の精神として生まれた党は、あの戦争と暗黒の時代に、侵略戦争に反対し、国民主権の日本を築くことを命がけで主張してたたかいぬきました。日本共産党がかかげた平和と国民主権の旗は、戦後「日本国憲法」に書き込まれました。

日本共産党員になると

- ①「しんぶん赤旗」（日刊紙、日曜版）を読みます。
- ②支部会議に参加します。
- ③学習につとめ、支部の活動に参加します。
- ④党費（実収入の1%）をきちんと納めます。

一人ひとりの力は小さくとも、職場、地域、学園で、草の根で活動する日本共産党です。「戦争か平和か」戦後最大の歴史的岐路に立つ今、主権者である国民一人ひとりがどう声をあげ、どう生きるのかが問われています。「戦争する国」づくりを許さず悪政に苦しめられるすべての人々との連帯・共同の実現にむけて、あなたの入党をこころから呼びかけます。（お近くの党員にお声をかけてください。）



平和のための綾部戦争展プレ企画
記念講演 高遠菜穂子さん
暴力の連鎖の中で考える平和憲法



イラク支援ボランティアとして活動されている高遠さんから、イラクの現状や「戦争しない国日本」が、今どんなふうに見られているのか聞きたいとおもい参加しました。

「2004年の自衛隊のイラク派遣を機に、日本に対するイメージは『平和国家』より『米追随の軍事国家』のほうが強くなった。定期的に派兵されている米海兵隊は『オキナワから来た』と自己紹介しているらしく、地元民の沖縄のイメージは極端に悪くなっている。」

安部首相のカイロでの「2億ドル支援」スピーチを聞いたイラク人からは「人道支援と言いながら、私たちを殺す側に回るのですか?」「戦争放棄をうたっているが、戦争サポートはよい

のですか。」と、聞かれたそうです。大きな組織の支援の隙間を埋める活動（地域で今必要なものを調べて届ける）を続けておられる高遠さん。

イラク人のほとんどは大変な親日家で、軍隊を持たない平和の国、日本人なら誰でも歓迎と言っていたイラン人も、「軍服を着た日本人は来ないほうがいい。」と口々に言うようになっていった。

イラク国内に260万人の避難民（2015年3月）が、テントや廃墟や建設現場に住み、餓死、病死、夏は脱水、冬は凍死で、一般市民にも多くの犠牲者が出ていること。国連や国際支援は継続されているが、予算不足に喘いでいる。米軍標準装備の「劣化ウラン弾、クラスター爆弾、白りん弾」の大量使用で汚染された台地や水。先天性異常や奇形で生まれる赤ちゃんの多さ、生後一週間以内に死亡する赤ちゃんは20%。

「アメリカが空爆するとニュースになるが、イラク政府が同じことをしても、誰も何も言わない。」ことなど、日本国内では知らされていないことがたくさんあることなどが分かりました。

高遠さんは、「日本は戦争をしない国を維持するためにも、戦争を止める国になることが求められている。」と、講演を締めくくられました。

戦争法案の中の後方支援で、自衛隊は武器弾薬を輸送します。武力では何も解決しません。

「綾部市政施行65周年記念式典」 綾部市の功労者、篤志者、教育功労者のみなさんに市長から賞状と記念品が贈呈されました。それぞれの分野で活躍され、受賞されたみなさんおめでとうございました。



市の行事で市歌や世界連邦宣言に触れる機会が増えました。

綾部市歌♪：緑濃き山脈遠く
静かなる文教のさと
清らけき由良の流れの
ささめきは世界とかよう
平和への切なる願い
運命負う人の命に
法の燈の輝きそひて：

「世界連邦都市宣言」

綾部市は日本国憲法を貫く平和精神に基づいて世界連邦建設の趣旨を参し全地球の人々と共に永久平和確立に邁進することを宣言する。

式典の中で宣言も読み上げられました。どちらも、綾部市の平和への思いがこめられています。

❖新婦人のサークル体験

折り紙や、絵手紙、着付け、リフォーム、囲碁、クッキングなど、ほぼ月一回開催されるサークルの体験会です。それぞれの地域に班があり、班会も楽しみです。体験会では、新聞を使ったちぎり絵に挑戦しました。和紙のちぎり絵のような高級感はありませんが、私の「ひまわり」ができました。みなさんも体験会にご参加ください。



古新聞のカラーページをちぎり絵に

「戦争法案反対」の声を上げる若者たち

毎週国会前に数千人のひとが集まり、自分の言葉で戦争法案反対の声を上げています。国会前だけでなくネットで呼びかけに答えて、京都でも、大阪でも、東京表参道でも、高校生や大学生、小さな子供を連れたママたち若い世代が、「民主主義って何だ!」「戦争なんかしたくない!」「誰の子どもも殺させない!」と数百人数千人と集まっています。若い世代が考え、呼びかけた集会やデモは、リズムに乗って、見ていても（インターネットですが）楽しくなります。まっすぐな若い世代の意見がしっかり伝わってきます。

「学生デモ 特攻の無念重ね涙」 （無職 加藤敦美 京都府 86）

※朝日新聞 2015年7月18日の記事、読まれた方もありますがご紹介します。

安保法案が衆院を通過し、耐えられない思いでいる。だが、学生さんたちが反対のデモを始めたとき、特攻隊を目指す元予科練（海軍飛行予科練習生）だった私は、うれしくて涙を流した。体の芯から燃える熱で、涙が湯になるようだった。オーイ、特攻で死んでいった先輩、同輩たち。

「今こそ俺たちは生き返ったぞ」とむせび泣きしながら叫んだ。 山口県・防府の通信学校で、特攻機が敵艦に突っ込んでいく時の「突入信号音」を傍受し何度も聞いた。 先輩予科練の最後の叫び。

人間魚雷の「回天」特攻隊員となった予科練もいた。私もいずれ死ぬ覚悟だった。天皇を神とする軍国で、貧しい思考力しかないままに、死ねと命じられて爆弾もろとも敵艦に突っ込んでいった特攻隊員たち。人生には心からの笑いがあり、友情と恋があふれ咲いていることすら知らず、五体爆裂し肉片となって恨み死にした。

16歳、18歳、20歳……。若かった我々が、生まれ変わってデモ隊となって立ち並んでいるように感じた。

学生さんたちに感謝する。今のあなた方のようにこそ、我々は生きていたかったのだ。